

交付運用報告書

DIAMケイマン・トラストー
Aspect マネージド・
フューチャーズ・ファンド

ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／
外国株式投資信託

米ドルクラス／豪ドルクラス／円クラス

作成対象期間:第14期(2024年12月1日～2025年11月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、DIAMケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド(以下「ファンド」といいます。なお、ファンドの名称について、「DIAMケイマン・トラストー」を省略することがあります。)は、このたび、第14期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。副投資顧問会社が、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産(株式、株価指数、債務証券(債券を含みます。)、通貨、金利および商品(エネルギー、金属および農産品を含みます。))を含みますが、これに限定しません。)の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

米ドルクラス			
1口当たり 純資産価格	純資産価額	騰落率	1口当たり 分配金額
第14期末		第14期	
11.64米ドル	19,303千米ドル	-3.3%	0.00米ドル

豪ドルクラス			
1口当たり 純資産価格	純資産価額	騰落率	1口当たり 分配金額
第14期末		第14期	
9.09豪ドル	825千豪ドル	-3.9%	0.00豪ドル

円クラス			
1口当たり 純資産価格	純資産価額	騰落率	1口当たり 分配金額
第14期末		第14期	
9,043円	2,598,751千円	-6.8%	0円

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。なお、米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。豪ドルクラスについては、当期における分配実績はありません。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額の期中合計額を記載しています。以下同じです。

*ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されていますが、受益証券は、クラス建通貨である米ドル、豪ドルまたは日本円建てのため、本書の金額表示は別段の記載がない限り、米ドル、豪ドルまたは日本円をもって行います。

*本書の中で金額および比率を表示する場合、適宜の単位に四捨五入している場合があります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、日本における販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufig.jp/products/trust/index.html>「外国投資信託運用報告書」)にて電磁的方法により提供しております。

管理会社

クイーンズゲート

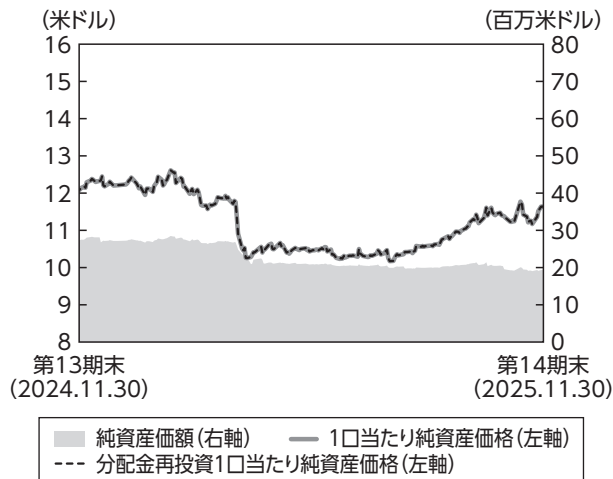
代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券
株式会社

運用経過

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



第13期末の1口当たり純資産価格: 12.04米ドル

第14期末の1口当たり純資産価格: 11.64米ドル

第14期中の1口当たり分配金額 : 0米ドル

 騰落率 : -3.3%
 (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第13期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

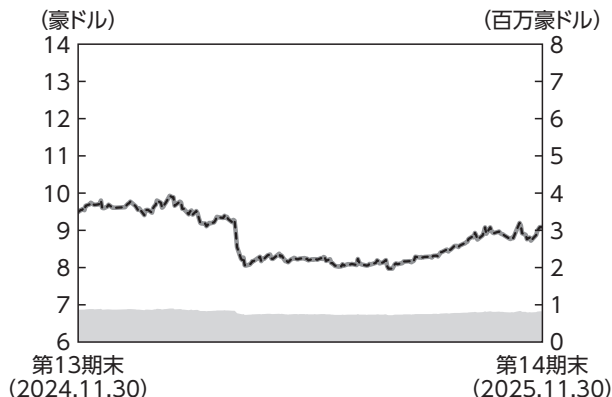
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、ファンドは株式市場、貴金属市場、農産物市場におけるポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、エネルギー市場、債券市場、為替市場におけるポジションがマイナス要因となりました。

豪ドルクラス



第13期末の1口当たり純資産価格: 9.46豪ドル

第14期末の1口当たり純資産価格: 9.09豪ドル

第14期中の1口当たり分配金額 : 0豪ドル

騰落率 : -3.9%
(分配金再投資ベース)

■ 純資産価額 (右軸) — 1口当たり純資産価格 (左軸)
--- 分配金再投資1口当たり純資産価格 (左軸)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、豪ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第13期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

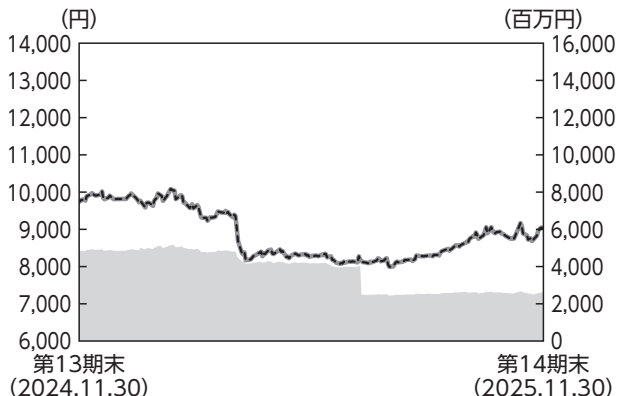
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、ファンドは株式市場、貴金属市場、農産物市場におけるポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、エネルギー市場、債券市場、為替市場におけるポジションがマイナス要因となりました。

円クラス



■ 純資産価額 (右軸) — 1口当たり純資産価格 (左軸)
 --- 分配金再投資1口当たり純資産価格 (左軸)

第13期末の1口当たり純資産価格: 9,707円

第14期末の1口当たり純資産価格: 9,043円

第14期中の1口当たり分配金額 : 0円

騰落率 : -6.8%
 (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第13期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、ファンドは株式市場、貴金属市場、農産物市場におけるポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となった一方、エネルギー市場、債券市場、為替市場におけるポジションがマイナス要因となりました。

費用の明細

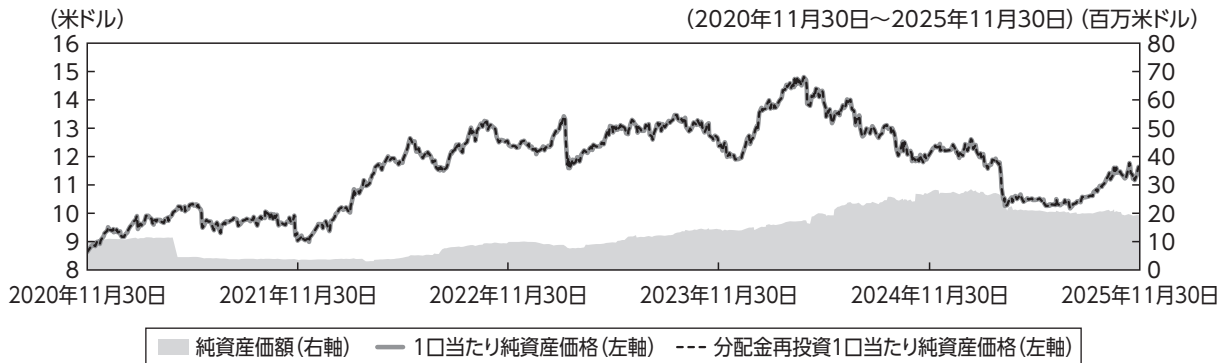
項目	年率／金額		項目の概要
受託報酬	純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の受託業務についての対価
管理報酬	純資産価額の年率0.01% (ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の運用、管理およびファンドの受益証券の発行、買戻し業務等についての対価
管理事務代行報酬	純資産価額に応じて以下の料率を乗じて得た額 (ただし、年間89,000米ドルを最低額とします。)		ファンドに対して提供する、ファンドの報酬および費用の算出、純資産価額の算出および発表、受益証券の申込みおよび買戻請求の処理、ファンドの主たる記録の維持、ファンドの報酬費用の支払いその他の管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務についての対価
	純資産価額	管理事務代行報酬料率 (年率)	
	250百万米ドル未満の部分	0.08%	
	250百万米ドル以上 500百万米ドル未満の部分	0.06%	
	500百万米ドル以上の部分	0.04%	
保管報酬	純資産価額の年率0.02%または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬		ファンドに対して提供する、保管する証券の処理、評価および報告等の保管業務についての対価
投資顧問報酬	純資産価額の年率0.63%		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および運用に関する業務についての対価
副投資顧問報酬	基本報酬：共通ポートフォリオ ^(※1) の純資産価額の年率1.5% 成功報酬：さらに共通ポートフォリオの成功報酬控除前評価額が、その時点のハイウォーターマーク ^(※2) を超えた場合、その超過分の20% (※1) 共通ポートフォリオとは、ファンドの資産から為替管理会社が行う為替取引の未実現損益を除いたポートフォリオをいいます。 (※2) ハイウォーターマークとは、過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後の評価額の最高値(設定当初は発行価額)をいいます。		ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および再投資に関する副投資運用業務についての対価
販売報酬	純資産価額の年率0.95%		ファンドに対して提供する、日本における受益証券の販売・買戻しの取扱業務等の販売会社としての業務についての対価
代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%		ファンドに対して提供する、受益証券一口当たり純資産価格の公表、運用報告書(全体版)のホームページにおける提供、および交付運用報告書その他の書類の日本における販売会社への配布等の代行協会員としての業務についての対価
その他の費用(当期)	ファンドの純資産価額の0.85%		コミッション支払代行報酬、専門家報酬、登録・名義書換事務代行報酬、印刷費用、維持費用、登録費用等

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用・手数料の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



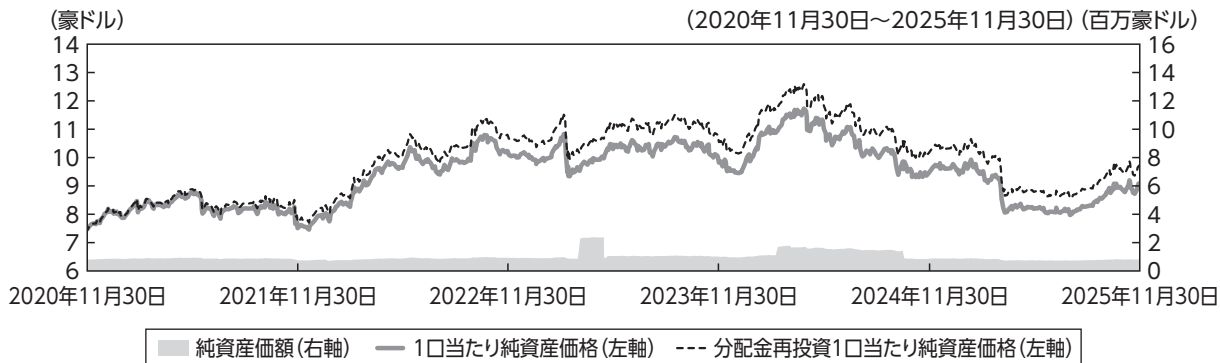
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第9期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

	第9期末 (2020年11月30日)	第10期末 (2021年11月30日)	第11期末 (2022年11月30日)	第12期末 (2023年11月30日)	第13期末 (2024年11月30日)	第14期末 (2025年11月30日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	8.62	9.03	12.50	12.63	12.04	11.64
1口当たり分配金期中合計額 (米ドル)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%)	—	4.8	38.4	1.0	−4.7	−3.3
純資産価額 (千米ドル)	7,324	3,491	9,065	14,377	27,233	19,303

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

豪ドルクラス

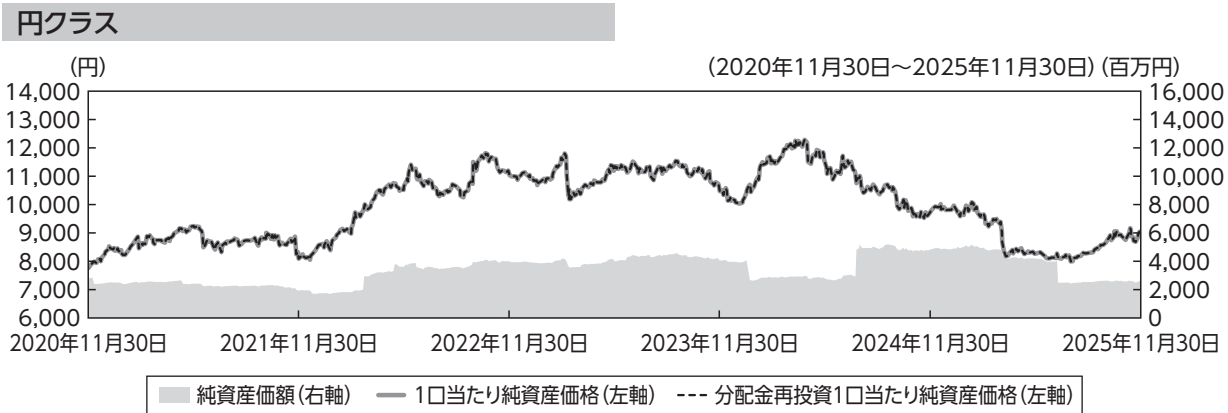


(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第9期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

	第9期末 (2020年11月30日)	第10期末 (2021年11月30日)	第11期末 (2022年11月30日)	第12期末 (2023年11月30日)	第13期末 (2024年11月30日)	第14期末 (2025年11月30日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	7.46	7.52	10.18	10.03	9.46	9.09
1口当たり分配金期中合計額 (豪ドル)	—	0.24	0.24	0.16	0	0
分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%)	—	3.6	39.1	0.1	-5.7	-3.9
純資産価額 (千豪ドル)	795	741	924	1,014	859	825

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第9期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

	第9期末 (2020年11月30日)	第10期末 (2021年11月30日)	第11期末 (2022年11月30日)	第12期末 (2023年11月30日)	第13期末 (2024年11月30日)	第14期末 (2025年11月30日)
1口当たり純資産価格 (円)	7,745	8,088	11,129	10,691	9,707	9,043
1口当たり分配金期中合計額 (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資1口当たり純資産価格の騰落率 (%)	—	4.4	37.6	−3.9	−9.2	−6.8
純資産価額 (千円)	2,778,776	1,936,174	3,979,550	4,134,322	4,801,035	2,598,751

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

投資環境について

2025年は年初から、市場が長年抱いてきた多くの前提を揺さぶる展開となりました。年初にリリースされたDeepSeekは、米国が世界のAI競争において揺るぎない優位性を有しているとの通説を瞬く間に覆しました。比較的控えめなハードウェア上で構築された、オープンソースかつ効率的で競争力のある性能を持つ大規模言語モデル(LLM)の登場は、市場で高く評価されてきたMAG7銘柄のバリュエーション、その競争優位性の本質性、そして莫大な設備投資の効率性に対して、鋭い疑問を投げかけました。米国株式市場の反応は迅速かつ明確でした。すなわち、「アメリカ例外主義の揺らぎ」という新たな物語が広まり、これは特に、米国株式指数が他の主要国市場と比べて相対的に劣後したことに端的に表れました。

その後もまもなく、市場はさらに大きな転換点に直面しました。3月には、ドイツで新たに発足した政権が財政政策を大きく転換し、経済活性化を目的とした前例のない規模のインフラおよび軍事投資パッケージを承認しました。これは、ドイツ、ひいては欧州全体が長年維持してきた、景気に逆行する財政スタンスからの明確な脱却を意味するものでした。年後半には、米国もこれに続き、トランプ大統領が「One Big Beautiful Bill」を推進し、財政支出の大幅な拡大が現実味を帯びました。財政を巡る議論が前面に出るにつれ、「財政支配」の概念が市場対話の中心となり、債券市場、とりわけ英国などの先進国市場では顕著なボラティリティが観測されました。

4月には、世界貿易が市場の焦点となりました。「解放の日」に、トランプ大統領が世界の貿易相手国に対して、予想外に強硬かつ広範な関税措置を発表しました。市場の反応は即時かつ劇的で、資産クラスを横断した前例のない値動きが生じました。きわめて異例な状況として、米国株式、米国債、そして米ドルが同時に売られる展開となり、投資家は深刻な世界的な景気後退ショックを警戒しました。結果として、その懸念は現実のものとはなりませんでした。市場に与えた衝撃は大きいものでした。

その後数か月にわたり、貿易協定の締結、関税の一時停止、さらには一部禁輸措置の撤回が進み、貿易摩擦に起因する成長懸念は徐々に和らぎました。これが世界のリスク資産に力強い反発をもたらしました。しかし、その間も市場をゆさぶる複数の物語は続きました。米政権が「One Big Beautiful Bill」の成立を目指して動きを強めたことに加え、行政府がFRB(米連邦準備制度理事会)の独立性に対して直接的な圧力をかけたことで、過度な財政拡張やインフレ再燃への懸念が起きました。

これらの動きは世界的なイールドカーブの顕著なスティープ化を招き、金を中心とする貴金属価格の急上昇を引き起こすとともに、債券市場に大きなボラティリティをもたらしました。同時に、世界各地で発生した地政学的な武力衝突は、戦争がこの10年の重要な特徴であり続けていることを改めて認識させ、エネルギー市場においても急激な価格変動を引き起こしました。

それにもかかわらず、こうした環境下にあっても世界の株式市場は上昇基調を維持しました。この流れが一時的に中断されたのは、潜在的なバブル形成への懸念が高まった11月のみでした。

ポートフォリオについて

過去12か月の大半において、エネルギーおよび債券は継続的にパフォーマンスを押し下げ、為替は4月初旬に急激な損失を被りました。これらの要因分析は、トレンドフォロー戦略にとって特に厳しい2つの局面、①方向感のない状態が長期化すること、②急激な反転が生じること、を反映しています。

2025年を通じて、インフレ期待は振れ動き、各国の財政に対する信認は揺らぎ、政治的不確実性が高まりました。これらの要因は、債券市場におけるトレンド形成を妨げました。エネルギー市場も同様の障害に直面しており、景気減速懸念、貿易摩擦、断続的な地政学的ショックにより、価格は方向感なく乱高下し、短期的なボラティリティ急上昇が繰り返されました。イスラエル・イラン紛争時の原油市場の混乱は、その一例です。このような環境下では、価格が明確な方向性を欠いたまま揺れ動くため、ポジションは繰り返し振り回されました。これらの動きがファンドのトレンド捕捉能力を阻害し、損失に繋がりました。

一方、為替セクターでの損失はより急激であり、年内最大の市場ショックであった「解放の日」を中心に集中して発生しました。ファンドは4月初に米ドルのロング、ユーロのショートポジションを保有していましたが、これは2024年後半のいわゆる「トランプ・トレード」に起因する強い先行トレンドの結果であり、2024年12月から2025年1月中旬にかけては収益をもたらしていました。第一四半期を通じて米ドルのエクスポージャーを削減していたものの、市場ショック発生時点でもポートフォリオは依然として米ドルのネットロングであったため、損失が発生しました。

こうした課題があった一方で、当年は機会にも恵まれました。株式、金属、農産物は比較的トレンドが形成されやすい環境であり、ファンドはそれらをうまく捉えることができました。株式については、解放の日以降の広範な市場回復局面において積極的に参加し、地域を横断した多くの株式指数で収益を上げました。金属も重要な貢献を果たし、とりわけ金を中心とする貴金属は、構造的要因を背景に第三四半期後半から第四四半期はじめにかけて再び強さを見せました。また、農産物市場は改めて分散効果を示し、需給不均衡に起因する個別要因のリターンから、特に牛やコーヒーといったコモディティにおいて収益性の高いトレンドが生まれました。

分配金について

米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。豪ドルクラスについては、当期における分配実績はありません。

今後の運用方針

2025年の市場は、断片的で急速に姿を変える市場の物語が交錯し、マネージド・フューチャーズ戦略の耐性が問われる一年となりました。こうした極めて難しい環境下にあっても、当ファンドで採用している各プログラムは幾つもの重要な局面で、その底力を示しました。とりわけ、解放の日後におけるトレンド戦略の迅速な反応は、当ファンドで採用しているリサーチの堅牢性と有効性を力強く裏付ける結果となりました。

先を見据えると、マネージド・フューチャーズが捉え得る投資機会の広がり、依然として魅力的に映ります。今日、複雑に重なり合い、時には競い合う無数の市場の物語は、投資家が向き合い続けるべき根の深い構造的問題を反映しています。当ファンドでは、こうした要因を「5-Dフレームワーク(脱グローバル化・脱ドル化・防衛費の増加・人口動態・脱炭素)」として整理し、今後の市場とポートフォリオ形成にいかなる影響をもたらすかを注視しています。

こうした構造転換が最終的にどのような結末を迎えるかを予見することは難しいものの、その展開の過程では、適応力が高く、柔軟で、偏りのない戦略こそが、投資家の皆さまに価値のある分散効果をもたらし得るという確信をさらに強めています。

お知らせ

該当事項はありません。

ファンドの概要

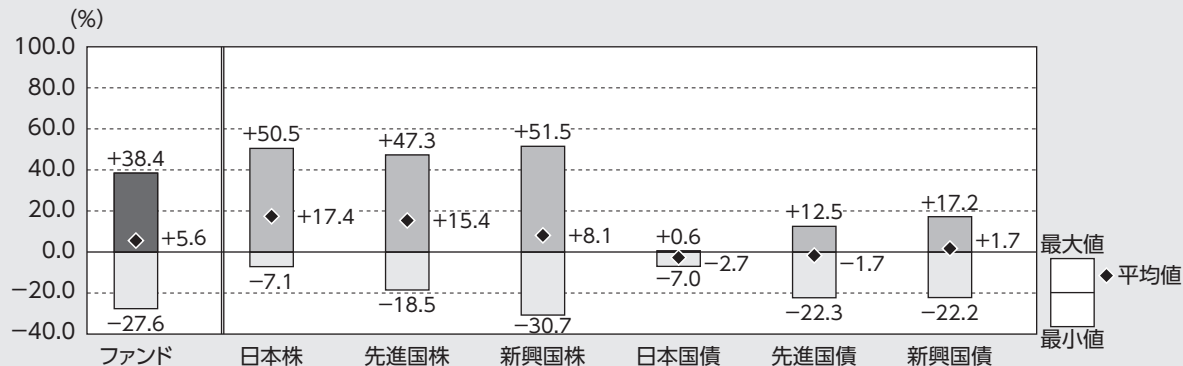
ファンド形態	ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託
信託期間	ファンドは2030年11月28日に終了します。(ただし、それ以前に繰上償還される場合があり、また、受託銀行と協議の上での管理会社の決定により、またはファンド受益者決議により、信託期間を延長する場合があります。)なお、ファンドの設定日は、2012年3月16日です。
運用方針	ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。
主要投資対象	国際的な先物契約および先渡契約(商品先物および通貨先渡しを含みます。)、債券および短期金融商品(リバースレポ取引を含みます。)ならびにその他の派生商品。
ファンドの運用方法	管理会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、投資顧問契約に基づき、投資顧問会社であるアセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッドに委託しています。 投資顧問会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、副投資顧問契約に基づき、副投資顧問会社であるアспект・キャピタル・リミテッドに委託しています。 副投資顧問会社は、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産(株式、株価指数、債務証券(債券を含みます。)、通貨、金利および商品(エネルギー、金属および農産品を含みます。))を含みますが、これに限定しません。)の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。また、投資顧問会社は、ファンドについて米ドルを売却し、取引対象通貨を購入するクラス為替取引に関する業務を、為替管理契約に基づき、為替管理会社であるザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンに委託しています。副投資顧問会社は、米ドル以外の通貨建の債券および短期金融商品へ投資する場合、投資通貨を売却し、米ドルを購入する為替取引を行う予定です。また、副投資顧問会社は、ファンドのため、投資運用から生じる米ドル以外の通貨建ての損益を、米ドルに換金する取引を日常的に実行します。
分配方針	収益分配は、投資顧問会社の裁量により行われます。 分配基準日: 分配落ち日の前ファンド営業日 分配金支払日: 分配落ち日から起算して原則として7ファンド営業日目以降 豪ドルクラスに関しては、分配金支払日がオーストラリア営業日※に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。 日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。 ※「オーストラリア営業日」とは、シドニーの銀行が営業を行う日(土曜日および日曜日を除きます。)または投資顧問会社と協議の上、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。

参考情報

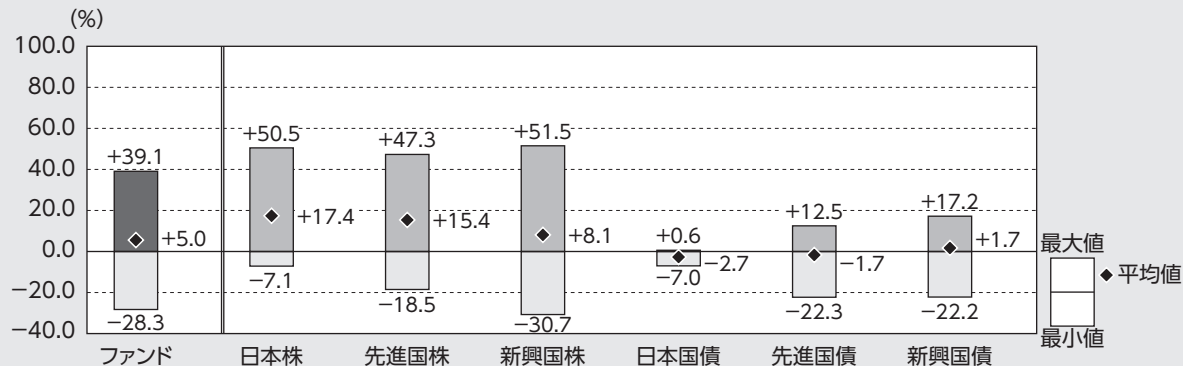
■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

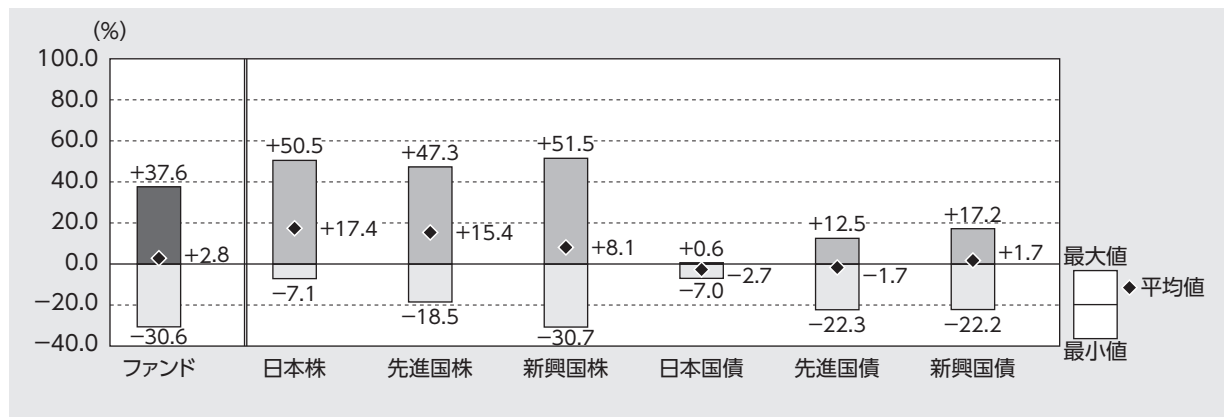
米ドルクラス



豪ドルクラス



円クラス



- すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2021年4月から2026年3月までの5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- ファンドの各クラスの騰落率は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして計算しています。なお、米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。また、各クラスの通貨建てで計算しており、円換算されておりません。したがって、米ドルクラスおよび豪ドルクラスについては、円換算した場合、グラフとは異なる騰落率となります。

《各資産クラスの指数》

日 本 株:東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし)

日本国債:Morningstar日本国債指数 (円ベース)

先進国債:Morningstarグローバル国債指数 (除く日本、米ドルベース)

新興国債:Morningstar新興国ソブリン債指数 (米ドルベース)

東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数 (TOPIX) の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし) およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース、配当込み、為替ヘッジなし) は、MSCI Inc. が開発した指数でMSCI Inc. の知的財産であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。MSCI Inc. では、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

Morningstar日本国債指数 (円ベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

Morningstarグローバル国債指数 (除く日本、米ドルベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

Morningstar新興国ソブリン債指数 (米ドルベース) は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

DIAMケイマン・トラスト・Aspect マネージド・フューチャーズ・ファンド (以下、「当ファンド」といいます) は、Morningstar, Inc., 又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. の関連会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」といいます) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な内外債券市場の騰落率と連動するMorningstarインデックスの能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、クイーンズゲート (以下、「管理会社」といいます) とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」といいます) の使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが管理会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、管理会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、管理会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

ファンドデータ

*クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

■ファンドの組入資産の内容(第14期末現在)

◆組入上位資産

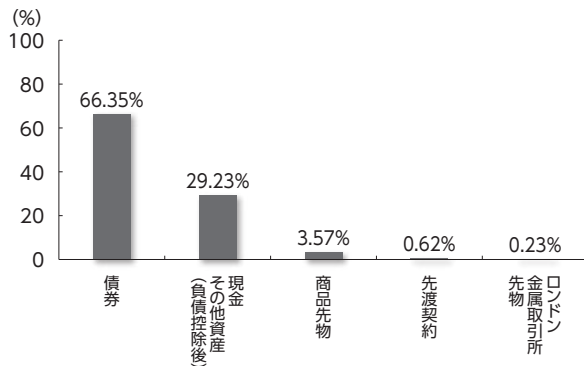
(組入銘柄数: 266銘柄)

		組入比率
1	United States Treasury Bill 03/05/2026	17.64%
2	United States Treasury Bill 02/26/2026	9.51%
3	United States Treasury Bill 02/05/2026	9.15%
4	United States Treasury Bill 12/18/2025	7.93%
5	United States Treasury Bill 01/29/2026	6.81%
6	United States Treasury Bill 12/04/2025	6.30%
7	United States Treasury Bill 01/08/2026	5.73%
8	United States Treasury Bill 12/11/2025	2.46%
9	SILVER FUTURE Mar26	0.82%
10	United States Treasury Bill 02/12/2026	0.82%

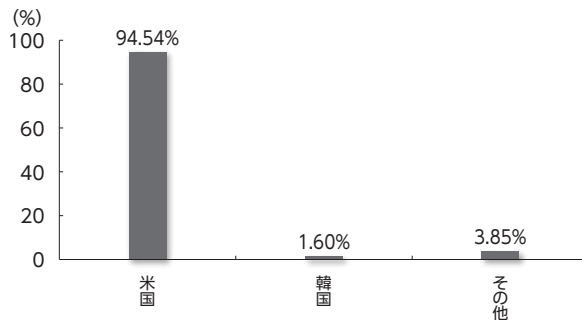
(注1) 組入比率は純資産価額に対する各組入資産の評価額の割合で、絶対値が大きい銘柄を記載しています。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

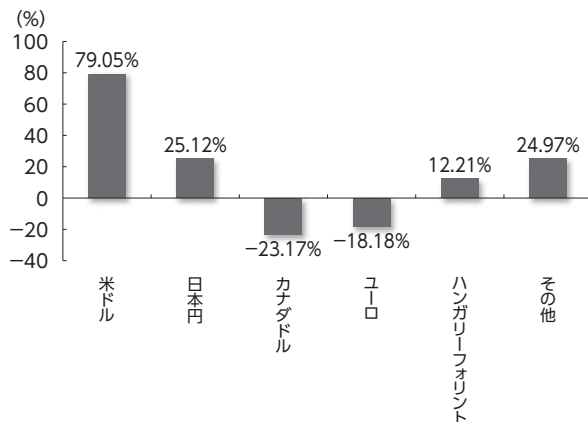
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産価額に対する各組入資産の評価額の割合です。国別配分については、構成比率が1%未満の項目を「その他」に分類しています。

通貨別配分については、構成比率の絶対値が大きい項目を記載し、10%未満の項目を「その他」に分類しています。

(注2) 上記グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

■純資産等

米ドルクラス

項 目	第14期末
純資産価額	19,303千米ドル
発行済口数	1,658,477口
1口当たり純資産価格	11.64米ドル

第14期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
267,497 (267,497)	866,080 (866,080)	1,658,477 (1,658,477)

豪ドルクラス

項 目	第14期末
純資産価額	825千豪ドル
発行済口数	90,754口
1口当たり純資産価格	9.09豪ドル

第14期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	0 (0)	90,754 (90,754)

円クラス

項 目	第14期末
純資産価額	2,598,751千円
発行済口数	287,365口
1口当たり純資産価格	9,043円

第14期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
23,791 (23,791)	231,030 (231,030)	287,365 (287,365)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。